

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage Up

月刊ステージ・アップ

'92
10月号【1日発行】**無料**

好評連載 ● 高橋清市長の随想



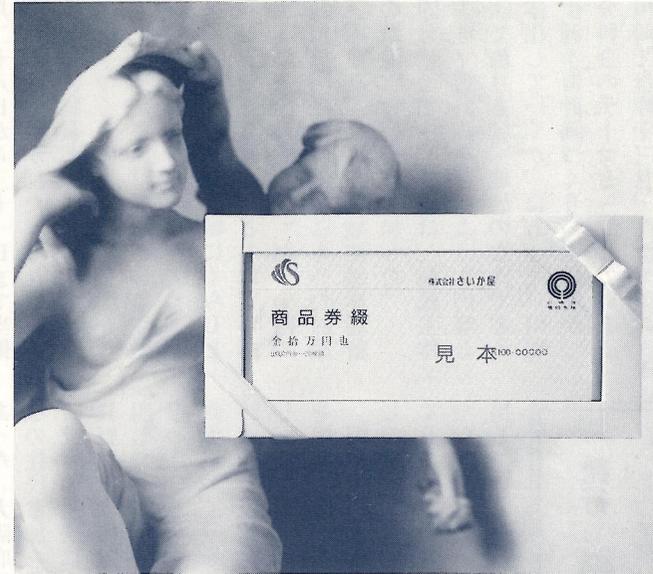
陣川橋



いまを話す

寄本勝美教授に解決策を聴く
ごみ毎日収集が危ない

楽しさを贈る、
さいか屋の商品券



さいか屋(川崎店・横須賀店・藤沢店・町田シヨルナ、サイカマート、及び三越提携店グループ)でご利用頂けます。
☆1,000円より、ご予算にあわせて各種ご調整いたします。
■川崎店・1階商品券コーナー



さいか屋川崎

〒210 川崎市川崎区小川町1番地
TEL. 044-211-3111

水道水が一番飲み慣れた水 だから 安全に健康的に...



全自動アルカリイオン電子整水器
ミネバランス
水を科学するヘルシーマシン
標準小売価格 148,000円
(消費税・取付け工事費別)

AKAI 赤井電機株式会社

酸性になりがちな体をアルカリイオン水は弱アルカリ性にして健康体にします。弱酸性のアストリンゼン水は美容に優れた働きがあります。
「ミネバランス」はアルカリイオン水とアストリンゼン水を同時につくる健康と美容になくしてはならない生成器です。
料理やお茶、コーヒー、紅茶、炊飯など用途は多様

パンフレットを無料でお送りします
フリーダイヤル ◆月~土曜9~20時
0120-096-608

代理店
株式会社ヒューマンテックコーポレーション
〒215 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306
TEL. 044-954-4154
FAX. 044-966-2566

健康を考えるなら
ミネバランス
整水器は常識です



本誌は毎月1日発行です

民間、公共施設128カ所のご協力で無料配布しています

銀行で小誌見つけ
ホツとした気持ちに
多摩区中野島、石田洋子さん(53)
文化の香りが少なく、お堅いイメージが強い銀行に「Stage Up」が置いてあるのを見つけ、なぜかホ

ッとしてます。店舗を見る日も今までと違った感じがして、優れた文化雑誌があるだけで、こんなに雰囲気違うのかと思います。特に「いまを話す」の今回のゲストは誰だろうと毎月楽しみにしています。「Stage Up」のますますのご発展

をお祈り致します。
お願い 「どくしゃの声」へのご投稿をお待ちしています。電話による「声」も歓迎します。掲載した時は記念のテレホンカードをお贈りします。

「Stage Up」の無料配布場所は10月号から、新たに医療機関一カ所のご協力をいただき、計百二十八カ所になりました。今後も市民のみなさまのご協力で配布場所を広げたいと願っています。

- 小売店
さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽イトーヨーカドー溝口店
- 金融機関
川崎信用金庫本店と川崎市内の全支店(川崎地下街出張所・小田支店・京町出張所・大島支店・大師支店・渡田支店・遠藤町支店・加瀬支店・小倉出張所・鹿島田支店・古市場出張所・御幸支店・新城支店・住吉支店・武蔵小杉支店・新丸子出張所・平間支店・宮内支店・向河原支店・梶ヶ谷支店・子母口支店・高津支店・二子新地出張所・野川支店・有馬支店・向ヶ丘支店・稲田堤支店・宿河原支店・中野島支店・長沢支店・登戸支店・柿生支店・百合丘支店・新百合支店)▽横浜銀行川崎市内の全支店(川崎支店・大島支店・大師支店・御幸支店・鹿島田支店・武蔵小杉支店・新城支店・元住吉支店・溝口支店・鷺沼支店・川崎北部市場支店・登戸支店・稲田堤支店・生田支店・読売ランド駅前支店・百合

- 丘支店・新百合ヶ丘支店・柿生支店)▽住友銀行川崎支店・宮崎台支店・新百合ヶ丘支店▽さくら銀行溝口支店・柿生支店▽神奈川県労働金庫新川崎南支店・川崎支店・中原支店・百合ヶ丘支店
- 鉄道
JR川崎駅▽JR登戸駅
- 医療機関
市立川崎病院▽市立井田病院▽太田総合病院▽聖マリアンナ医科大学病院▽つみ歯科新百合ヶ丘
- 電力会社
東京電力川崎支社・高津営業所・生田営業所
- 書店
文学堂本店(京急川崎駅横)
- クリーニング店
ホワイト急便金程店
- 事務所
川崎中央法律事務所
- 公共施設
教育文化会館▽情報コーナー▽市民館▽高津市民館▽中原市民館▽

- 宮前市民館▽多摩市民館▽麻生市民館▽菅生分館▽岡上分館
- ▽県立川崎図書館▽幸図書館▽高津図書館▽中原図書館▽宮前図書館▽多摩図書館▽麻生図書館
- ▽市民ミュージアム▽日本民家園▽青少年科学館▽市立体育館▽石川記念武道館▽幸スポーツセンター▽麻生スポーツセンター▽青少年の家▽青少年創作センター▽青少年センター
- ▽市役所▽川崎区役所▽幸区役所▽中原区役所▽高津区役所▽宮前区役所▽多摩区役所▽麻生区役所
- ▽福祉バルあさお▽労働会館▽エポックなかはら▽中小企業・婦人会館▽総合自治会館▽市民プラザ▽労働資料室▽消費生活センター▽ヨネッティー堤根▽ヨネッティー王禅寺▽産業振興会館▽フルーツパーク▽緑化センター▽県立勤労女性会館▽神奈川県第二中高齢労働者福祉センター「サンライフ川崎」
- (この他、老人いこいの家に若干部数)

随想 高橋清 川崎市長



「夏休み了え 陽焦け子の 凜と」
この句は、中原区内のある小学校の「学校ニュース」に載っていたもので、ひと夏の間、逞しくなったことも達への教師の新鮮な驚きと愛情に満ちたまなざしが読みとれ、夏から秋への季節の移ろいが簡潔に掬いとられています。
例年ですと、九月の声をきけば、ススキの穂をそよがす初秋の涼気を全身に受けて当然の季節ですが、今年の残暑の厳しさは格別のものであります。

人情の厚い農家などに、川崎の小中学生が宿泊して、雄大な自然の奥行きを学び、収穫の喜びを共にして、暮らしには多様な姿があることを達自身で確かめてほしいのです。

「夏休み了え 陽焦け子の 凜と」
この句は、中原区内のある小学校の「学校ニュース」に載っていたもので、ひと夏の間、逞しくなったことも達への教師の新鮮な驚きと愛情に満ちたまなざしが読みとれ、夏から秋への季節の移ろいが簡潔に掬いとられています。
例年ですと、九月の声をきけば、ススキの穂をそよがす初秋の涼気を全身に受けて当然の季節ですが、今年の残暑の厳しさは格別のものであります。

の群れの中心に、必ず年長のガキ大将の統率のもと、子ども達は知らず知らず、遊びのコツやケンカのルールを教わり、生きるうえでの知恵を身につけていたような気がします。
今にして思えば、当時は貧しく素朴でしたが、子ども達だけの自由の王国が存在していたのです。

こう記すと、「昔のことも比べ、今のこともの方がかわいそうだ」と言っているように誤解を招きそうですが、そうではありませぬ。どのような時代であれ、子どもは凜として、逞しく成長するものです。
しかし、この世の世界が人工物に囲まれ、あるがままの自然から遠ざかってしまつては、なにか貴重なものに触れないまま、大人になるのではないかと、危惧せざるをえないのです。物質的豊かさの時代に、明日を担う子ども達が、自由にのびのびと遊ぶ生活環境を整えるのは大人達の責務であると思ひます。

毎年、夏休みの終わった九月に「川崎生まれの田舎育ち」の子ども達の心も体も元気で、優しいキラキラした瞳に会えることを楽しみにしたいと思います。
(九月六日記す)



夏休み―。私自身の遠い昔の記憶をたどれば、文字どおり、大自然の懐に抱かれてセミやトンボ、クワガタ、カブトムシなどの昆虫採集や川遊びに、日が暮れるまで遊びふけた幼い頃の日々がよみがえってきます。
そして、自然を駆け巡ることも

都市化が進み、社会の仕組みが変わり、夏休みも大きく様変わりしました。かつての遊びの名人、ガキ大将はほとんど姿を消し、絵日記にはハワイやオーストラリアの海岸が描かれています。
夜の闇の中に浮かぶ盆踊りや縁日の灯は、デイズニーランドの色

川崎市は、かつての「子ども達の自由の王国」をよみがえらせようと、友好関係にある北海道・中標津、岩手県・東和町、長野県・富士見町の協力をえて、ささやかな試みをはじめます。

毎年、夏休みの終わった九月に「川崎生まれの田舎育ち」の子ども達の心も体も元気で、優しいキラキラした瞳に会えることを楽しみにしたいと思います。
(九月六日記す)

学習・文化情報

参加したい催しがある

りの場合は中止。小学生は保護者同伴。☎92214731。

◆「勤労女性会館文化祭」

県立勤労女性会館 10月23日(土) 13時～15時、講演会「あなたのわたしの元気回復法」講師は順天堂大体育学部・武井正子教授。定員60人。無料①一日教室(紙人形、囲碁、着物着付け他)②23日25日は作品展、模擬店、バザー。①②は申込み制。☎51110451

◆「会館まつりもつとぶれあい、もつと夢'92」

県立川崎青少年会館 一日入

門・公開練習①10月13日12時、ヨガ▽同19日21時、社交ダンス▽同18日21時、茶道②10月14日12時、ジャズ体操。また、食に関するパネル展示は10月13日17日。リサイクルセールは18日10時(品物を募集中)でクイズ大会、屋台、もちつきなどもある。☎2215281。

◆「スポーツコーナートレニング講習会」

県立川崎青少年会館 10月2日(金) 18時半～20時半。スポーツコーナートの利用方法の説明と実技。対象は16歳以上。定員20人。保険料1100円。

◆「新着映画の無料貸し出し総合教育センター」

「白旗の少女 疏子」、「ムーン消えないおぼけ」、「注文の多い料理店」、「身近な環境問題を考える」、「原爆の子」などの新着映画やアニメ映画、教育、高齢者、平和、環境関係の16本、映画1250本、ビデオ9百本の無料貸出しを行っている。利用者は団体登録が必要。映写機は教育文化会館や各市民館ライブラリーで貸し出す。詳しくは☎84413636の同センター学習情報室。

ギャラリー

「ギャラリー華沙里」

10月1日～27日、二科神奈川支部小作品展。鶴岡義雄さんが特別出展。展示時間は10時～19時(最終日は17時まで)。水曜休廊。同ギャラリーは小田急線新百合ヶ丘駅より徒歩5分。☎95412333。『画廊ラフ屋』9月30日

コンサート

「たかつ音楽祭」

心もからだもワツハツハノ◆県立高津青少年会館 10月25日(日) 13時開演。コーラス、ギター、マンドリン合奏他。参加自由。申込みは☎8412101。

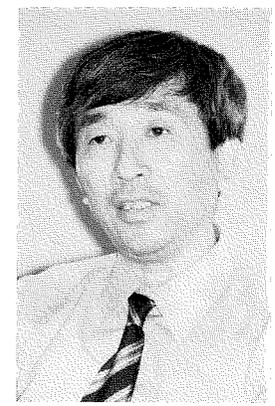
会員募集

●川崎ヘルスボランティアの会(川崎区富士見2-3-8、小川ミナト代表)

4416。『青少年科学館』10月1日11月11日、電子顕微鏡による花粉の世界(撮影、故群馬大学名誉教授・山田義雄さん)。月曜休館。☎92214731。『高津市民ギャラリー』10月9日15日、鎌倉彫・祥刻展▽16日21日、高津区老連作品展▽23日26日、柴山古流展▽30日11月4日、画行会公式展。☎83317411(高津市民館)。

地域で共に学び支えあうため医療、介護のネットワークや福祉、教育、社会問題などを幅広く学習していきます。現在、福祉パルかわさきで、「ヘルスボランティア講座」を開いています。ホスピスをふくめ死の教育、男女共同社会をめざす計画人間理解とコミュニケーションなど内容が盛りたかさんです。講座問い合わせ・連絡先は☎22213344の飯田和子事務局宅。●保育ボランティアアソシエーションの会(中原区小杉陣屋町1-22-54、内川みゆき

分別収集、リサイクルを徹底し 一〇%の減量を平成〇年まで



毎日収集は川崎の財産 種類別に曜日を決める

「ごみ毎日収集を維持したまま減量は不可能と?」 寄本さん いやいや、毎日収集は川崎市の財産ですよ。分別収集とは、これまでの混合収集だったものを、キメ細かく種類別に曜日を決め集めることです。現在の人員、機材を分別に組み替えるだけで実現は可能ですよ(断定的に)。現に「財産」があるので、他都市より減量目標の達成の可能性が高いと言えますね(笑顔)。分別収集後は、どうなるのでしょうか。

寄本さん 処理・受け皿の問題ですが、再資源可能なものを分別収集しても、その持ち込み先や選別施設、再生業者がなくては何にもなりません。公社の役割とドッキングすれば、うまくいくと思います。

資源として回収しても、企業が積極的に使わなければ無意味です。また、再生市況が低迷、鉄くずは、出した側がお金を払わなければ引き取らないのが現状です。再生業者の転業、市財政の負担増になっていきますが……

寄本さん ご指摘の通り、再生資源の無価値扱いには怒りを感じます。しかし今後の見直しについて、あまり悲観していません。今後のリサイクル活動は、再生商品を集める際、商品価値を向上させる必要があります。具体的には……

寄本さん 鉄空缶を例にとると、プレスされた鉄塊に不純物がない

ことがリサイクルの前提です。泥、セトモノなどの混入物が入っていれば業者は買いません。再生する側がどうい資源を求めているかに留意して収集することが大切です。ある地方自治体は、質のよい鉄塊に処理して現在でも、トン当たり二千円引き取ってもらっています。再生商品の質が向上すれば価値は高まるのです。

発展途上国では、鉄くずや空きびんがお金になり、再利用が常識ですのね。 寄本さん (うなずきながら) ええ、国際的視野で見れば、再生資源はすべて貴重な資源です。国が資源政策として、全ての再生資源を最低価格で買い上げるまでにならなければいけませんね。

リサイクルの現状は、どうなっているのですか。 寄本さん アルミ缶は、資源の塊と言われていますが、それでも

回収率は四三%程度で、半分以上はゴミとして捨てられています。いくら価値があっても回収率を高めなければ資源として生かされません。

井上 愛子 さん
いのうえ・あいこ=横浜市生まれ。国立音楽大音楽科卒。30年前から川崎市民。二年前、市教育文化会館主催の地域セミナー「暮らしとごみ問題」に参加。今年5月、川崎のごみを考える市民連絡会メンバー。自宅は川崎区池田で家族は会社員の夫と大学生の長女、二女。

リサイクルの費用は誰が負担すればよいとお考えですか。 寄本さん 製品に、リサイクルコストを当初から上乗せすべきだと思います。先頃、清涼飲料が一缶当たり十円値上がりしましたね。このうち、自動販売機分の一円だけ、リサイクルコストに回すと、年間三百億円も集まるのです。チリも積もれば……ですね。

講座・講演

「ユトリストカレッジ」

県立川崎北労働センター」

上手な旅♪得する海外旅行術は10月19、22、27、30日の18時15分〜20時15分。全4回。旅行業界の仕組みや、旅の楽しみ方を学ぶ。講師はトラベル・デザイナーのおそどまさこさん。テキスト代千円▽水墨画への誘い〜ひと味違った年賀状は11月6〜12月11日の毎週金曜18時15分〜20時15分。全6回。講師は創墨会・村上厚会長。いずれも定員先着30人。受講料無料。☎72210171。

「企業と女性の新時代」

多様化する女性の働き方・活かし方◆県川崎合同庁舎

11月10日(火) 13〜17時。パートタイマー雇用の基本的課題や女性の能力を活かせる職場づくりについて考える。講師は宇都宮大・松岡二郎講師ほか。受講料無

料。対象は人事労務担当者など。定員40人。申込みは☎23317351(内)

285かFAX24412802の県立川崎労働センター教育福祉班(主催)。

「ユトリストカレッジ」

県川崎合同庁舎」10月31日か、11月21日の13〜17時。テーマは、はじめての趣味の陶芸〜土こねから色付けまで。茶碗・コーヒーカップづくりのコースと、花器・ビールジョッキづくりの2コースがある。講師は茂木陶芸教室主宰・茂木晴子さん他。対象は県内在住の勤者。定員各20人。受講料は無料だが、材料費は実費。申込みは☎23317351(内) 285かFAX24412802の県立川崎労働センター教育福祉班(主催)。

「①茶道(抹茶)、②油絵入門」◆県立高津青少年会館

①は10月9〜23日の毎週金曜。立ち方からお点前まで▽②は10月7〜21日の毎週

水曜。デッサンから完成まで。いずれも18時半〜20時半。全3回。定員10人。☎84412101。

「リサイクル型の街づくりを目指して」◆王禅寺清掃場」10月17日(土) 13〜15時半。講演とビデオ上映。講師は日本テレビアナウンサー・萩原弘子さん。入場無料。定員先着120人。申込みは☎95111451のリサイクル環境公社リサイクル事業課(主催)。

「子供との関わりの中で絵本を考える集い」◆絵本とその限りなき可能性◆教育文化会館」パネルディスカッションは10月21日(水) 13時半〜16時。絵本表現の現在と未来、絵本の魅力を報告。司会は子どもの文化研究所・上地ちづ子さん。パネラーは絵本の編集者ほか。定員30人。ソフト制作会社・機器販売会社協力のハイパー絵本も展示。申込みは☎23314537の県立川崎図書館閲覧課

(主催)▽手づくり絵本、ハイパー絵本の展示は10月21〜25日、同図書館で。

「桜美林大学公開講座」

桜美林大・外国語センター」

10月1〜11月19日の毎週木曜。10月1日：A「南極の自然」B「在日外国人の見た日本」▽8日：A「中国は何処へ行くか」B「気巧について」▽15日：A「人間の問題」B「極東ロシアの旅から」▽22日：A「ドイツの老人問題について」B「モンゴル草原の文化について」▽29日：A「日本語が下手になった日本人」B「中古・中世のこぼれを考える」▽11月5日：A「東南アジアの少数民族」言語・文化・人権」B「美術鑑賞」セザンヌ」▽12日：A「書の楽しみ」文房四宝の話」B「ゴスペルフォークと証し」▽19日：A「苦節30年仕事と子育て」B「アメリカのエイズホスピスを訪ねて」他にバス旅行もある。講師は元桜美

最大の課題 事業ごみの減量と最課 事業者の意識高揚

「ゴミの減量・リサイクルは消費者、事業者、行政が一体でやるべきですが、事業者との話し合いが難しいと思います。寄本さん これが今後の大きな課題ですね。川崎市が考えた牛乳パック回収の仕組みは、埼玉県で改善されました。スーパーの入口に牛乳パック置場を常設し、行政がそれを回収してストック。それを古紙業者が工場へ運搬という仕組みです。消費者は買入物の際、空きパックを置場に入れるだけで、それぞれの役割を分担でき、回収率三五%の好成績を上げています。外国ではどうなっていますか。

新。清掃事業先進都市へ向け 市民が積極的参加を...

寄本さん 川崎市は長い間「清掃事業先進都市」でした。いま、新しい時代の要請である減量化、リサイクル化などの「新・清掃事業先進都市」をぜひ、作ってほしいと思います。市民も行政任せにしないで、進んで参加・協力して消費者、事業者、行政が一体となって新しい方式・仕組みを作り、全国のお手本になってくれると期待しています。きょうは貴重なお時間をいただき、非常に勉強になりました。ありがとうございます。川崎市長、協力 川崎清掃局。構成・文責 田中関



ほんねインタビュー

買っています。この方法は戦前、日本の家庭で普及していた正油、酒、油の「升売り」と同じです。川崎市は平成四年を「リサイクル元年」と名付け、ゴミの減量化とリサイクル対策が本格的にスタートしました。六年までに減量目標一〇%を達成するには市民の協力が不可欠だと思います。

りの家庭ごみ排出量は約一キで東京都民の約二倍に当たる。川崎市では家庭系ごみが総排出量の約八五%だが、東京では事業系ごみ約六五%、家庭系ごみ約三五%の比率。常識では考えられない落差がある。家庭系ごみの中に相当量の事業系ごみが混入していると推測できないか。寄本教授が今後の大きな課題として「事業者との話し合い」を挙げているのは、このためと考

当事業団は小田急線新百合ヶ丘駅下車、徒歩1分です。多目的ホール、研修室、会議室のご利用は ☎044-952-5000へお願いします。当事業団は、12月29日〜翌年1月3日を除き無休で開館しています。多目的ホール(504席) 研修室(24〜30席) 会議室(20席)のご予約・お申し込みは、午前9時から午後5時まで(土曜日の午後と日曜日を除く)です。

高校で考えた外国人の人権 難民との交流で人類的課題を直視

市立川崎工高講師 関崎益男さん

明石書店



この本は、市内の県立高生が、一九九〇年に国連総会で採択された「すべての移住労働者とその家族の権利保護に関する国際条約」を日本語訳するプロセスが中心に述べられている。高校生たちは、学校から一時間半のところにある綾瀬市の寺尾団地「綾瀬子ども学習室」に集まる子供たちに漢字・算数などを教えている。その子供たちは、ベトナム・ラオス・カン

ボシア・ブラジルなどの難民。さらに活動レポートとしてバングラデシュのワークキャンプに参加した男子生徒の体験が報告されている。このような活動から、高校生自身が自らの役割を自覚し、こう述べている。「一つはボランティアに参加することが他人事ではない。二つ目は彼らに魅力を感じる。三つ目はほくたちに興味を抱き、ほくたちに対して心を開き誘い入れてくれる、そんな最も人間にあつてほしい姿をのぞかせ、それを自分たちから引き出してくれ」と。

国人労働者」という言葉、高校生の情熱と大きく伸びようとするひたむきさを学ぶことができた。未来に生きる若者は、「TVを見ていれば、いろんな情報が入ってくるけれども、そういう他人の主観を通した情報だけにとどまらずに、その事実と実態を自分自身の肌で感じる。これが何よりも貴重なことなのである」とかたり、主体的に行動しはじめた。大人の人として青春を生き、差別や人権など人類的課題をも直視しようとする高校生たちの活動に心からエールを送りたい。

川崎新時代の 総合計画素案

地区の特色活かす多核的まちへ 「市民エネルギーが必要」高橋市長

21世紀・川崎新時代の都市ビジョンを決める新総合計画の素案についての市民討議が、八月に全七区であり、素案を「たたき台」に高齢化社会、環境への要望や公共施設の建設は早い段階から市民参

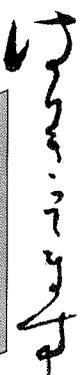
加を求める声が多かった。七回の市民討議で、高橋清市長は会議終了まで市民の声に熱心に耳を傾けメモを執り、最後に「総括」するなど積極姿勢が目だった。市長は、昭和五十八年に策定し

た「2001かわさきプラン」を改め、新総合計画を策定する理由について「高齢化・国際化・情報化・ごみ問題（環境）など社会経済情勢の急激な変動」を挙げ、同時に「東京一極集中で川崎の人口が急増した。市民が大幅に増えたことは、行政執行の根幹をなす問題だ」と「市民生活最優先の市政」を貫くための策定であることを、あいさつの中で表明した。

また、市長は「素案は長期的展望を示しているため抽象的だが、今日の課題と結合させ、ご討議をお願いする」と述べた。さらに市長は「総括」で、素案に「五つの基本方向と九つの課題」を提起したことにふれ「その根底にあるのは『多核的なまちづくり』にある」と、地区の特性を活かし多様な都市機能が整備された快適な街づくりを強調。「そのためには、内発的方向で新総合計画をまとめる」と、市民のまちづくりへのエネルギーに基づき計画を策定していく考えを明確にした。

季節感と健康考え腕振るう

麻生男の料理サークル



グループ紹介

「食べることは、生きることの基本」と、平成元年九月にスタートした「麻生男の料理サークル」上野駿代表（69）会員十三人

は、第四金曜日の夕、麻生市民館料理室で、魚の絵のついたお揃いのエプロンを着け包丁さばきも鮮やかに夕食作りを腕を振るう。メニューは季節感と健康を考え、和・洋・中華を交互に作る。

この日は、巻き寿司ふうお握りと小アジの香り揚げ。それにペーパーミントゼリーのデザート。写真上野代表は、家にスパイス二十数種類と赤、白ワインを常備。家族が集まる「晴れの場面」で腕を振るう。「素材が料理になるまでのプロセスが楽しい」と話す。

を打つ。「家族に乗せられているんじゃないかな」と笑いながらも料理を楽しんでいる様子。ギョーザに入れる白菜の水切りを忘れて、失敗した経験を持つ桜庭善三さん（69）は「自分では作らず、妻や娘に教えて尊敬されています」と照れるが、「孫におじいちゃんのを伝えたい」と夢が膨らむ。

「今日はサークルで何を作ったの。今度家でも作ってね」と言ってくるのが嬉しいと笑顔。また、「習った通りに作るとおもしろいのですが、自分流にアレンジすると不評なんです」と苦笑。家族に大好評なのが、いろいろなスパイスを混ぜ、五時間も煮込むカレー。サンマの蒲焼きやブタ肉の梅酒煮もお得意という。

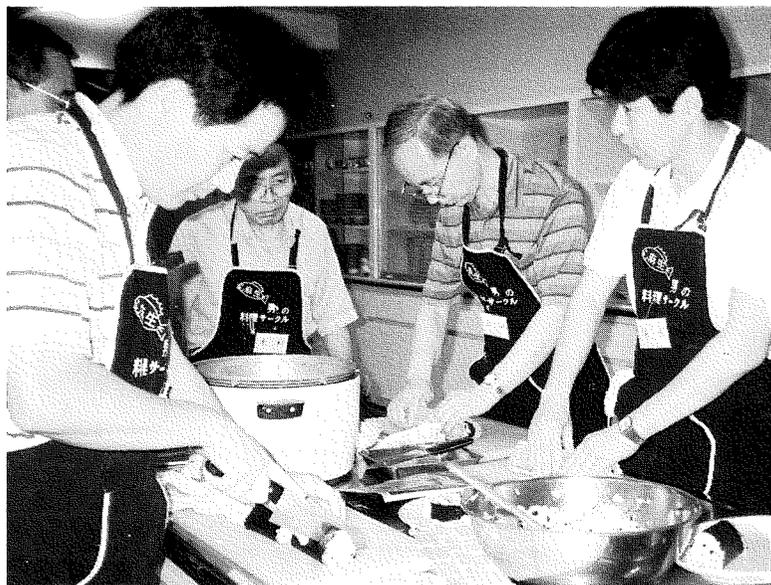
同サークルは毎年十二月、奥さんや子どもを招いて「家族パーティー」を開催する。盛りだくさんの料理の他に、市販のカステラを使い色彩豊かな即席ケーキを作る。料理づくりを通してコミュニケーションが広がる。また、食事の後片付けが習慣となり、奥さんに感謝されている人も多い。

人生を楽しむため料理を始めた玉井清造さん（60）は、週二回は台所に立つ。ブタ肉のロベール風、ロールキャベツなどに家族は舌鼓

男性が料理をすることは、まだ珍しいが、これが普通になれば、家族のきずなが強まり、地域の対話も広がるに違いない。会では年齢、職業に関係なく、地域の中で生活しようという人の参加を呼び掛けている。

同代表宅は麻生区下麻生六五七一―一、☎98813051。

（取材・松本成代
カメラ・田島志織）



家族パーティー開き 交流の輪広める

学習・文化情報

参加したい催しがある

が教材費は実費。申込みは往復ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号・志望動機を記し、10月26日までに〒210幸区南幸町3-1-5 4-3の同館。☎5111-0451。

【視覚障害者のための読者のつどい】文学歴史散歩講座「川崎大師をたずねて」
◆川崎大師 10月22日(木) 10時～14時半。見学と法話を聞く。対象は市内在住の視覚障害者と家族、ボランティアなど。定員60人。申込みは☎2111-3181の盲人図書館(主催)。

【①コーラス②吹奏楽③女性コーラス④レディスエイブアップ⑤ヤングコーラス⑥剣道⑦吟詠◆県立川崎青少年会館】①は10月1～来年3月25日の毎週木曜。全15回②は10月3～来年3月27日の毎週土曜。全16回。打楽器以外は楽器持参。いずれも18時半～20時半。対象は16歳以上③は10月9～来年3月26日の月3回金曜10時半～12時。全19回④は10月14～11月11日の毎週水曜18時半～20時半。対象は

16～30歳。保険料1100円⑤は10月22～11月12日の毎週木曜18時45分～20時45分。全4回。対象は16歳以上⑥は10月3～12月19日の毎週土曜18～19時半。全10回。対象は小学生以上の初心者。竹刀持参。保険料は実費⑦は10月3～11月28日の毎週土曜15時半～16時半。全8回。対象は5歳以上の初心者。いずれも定員20人。☎2221-5281。

【日本女子大学公開講座 ◆日本女子大・西生田校舎】10月31～来年1月9日の土曜13時半～15時半。全8回。テーマは「こどもと生活学」対象は18歳以上。定員先着50人。教材費2千円。申込みは☎900013020の多摩市民館。

【高津女性学級】わ・た・し学◆高津市民館他 11月10～来年2月16日の火曜14～16時。全10回。忙しい毎日の中で様々な顔をしていく「わたし」のステキな素顔を見直してみる。素敵なわたしへの道しセルフカウンセリング」施設見学など。対象は市内在住の女性。

定員25人。受講料は無料だが施設見学は実費。申込みは10月27日10時から☎83317411の同館。

【サロン・ド・稲毛◆稲毛神社参集殿】10月19日(月)18～20時半。テーマは「アメリカ人が見る日本の風俗と文化」。講師は国学院大のノルマン・ヘイブング講師。参加費4千円。☎2221-4554。

【非行の心理と大人の不安◆日本女子大・西生田校舎】10月31日(土)14～17時。講師は同大人間社会学部の速水洋助教授。参加費3千円。学生は無料。当日直接来校。詳しくは☎031394216180の同大児童研究所。

【健康増進講座◆大師保健所】11月2～30日の月曜9時から(初日は9時半)。全4回。自分の総合的な健康の度合いを知り、それにそったプログラムで指導を受ける。講師は体育指導員・石川満世さん他。対象は大師支所管内に住む18歳以上で、医療機関で治療を受けていない方。定員15人。

検査料は40歳未満の男性が3930円で、年齢により異なる。☎26610128(内)21の同保健所。保健予防課。

【秋の民家園祭り◆日本民家園】10月24・31・11月7・14日13時半～16時。原家で講座「民家の発見と対話」。定員40人。教材費5百円(4日分)▽10月25・11月1日10～15時。作田家で農具使用の体験学習。定員40人。教材費3百円(2日分)。いずれも受付は9月25日9時より▽10月25・11月3・8日、作田家と佐々木家でわら細工・機織り▽11月3日(雨天8日)川崎の民俗芸能公演▽11月7・8日、山田家と佐々木家で日本の伝統技術・紙すき▽10月24～11月14日、北村家で年中行事「収穫祝い展示」。いずれも見学自由。☎9221-2181。

【土曜観覧会◆読売ランド】11月14日(土)13～16

時、野鳥の観察。対象は小学4～成人。定員30人。申込みは10月16日から☎92214731の青少年科学館(主催)。

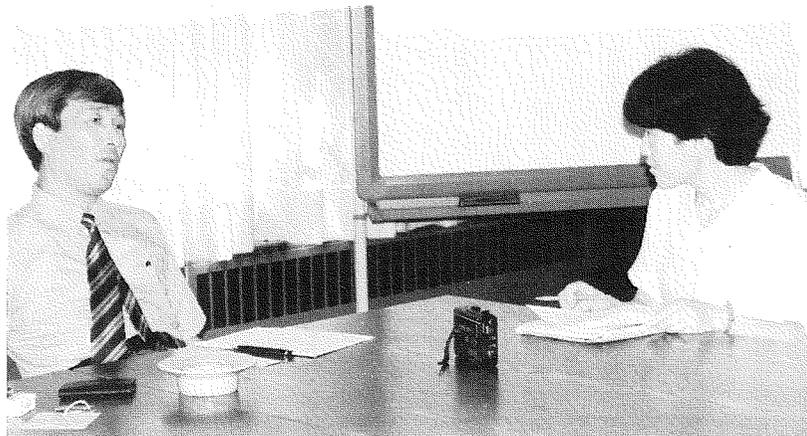
【市民天体観望会】土星の輪が見えるかな◆青少年科学館 10月3日は18時半～20時、10月17・31・11月14日18時～19時半。主な観察対象は土星、月、星雲、星団など。申込み不要。雨・曇りの場合は中止。小学生は保護者同伴。☎92214731。

【プラネタリウム◆青少年科学館】10月は「星のかくれんぼ」アルゴル▽11月は「クリスマス・イブの日食」。投影開始時間は火曜15時▽土曜13時半・15時▽日曜・祝祭日は10時半～12時・13時半・15時。おとな百円、こども50円。☎92214731。

【天体写真撮影会◆青少年科学館】10月11日18～20時は土星。受付は中▽11月22日17時半～19時半はトナツ星雲M57。10月11日より受付。対象は小学5～成人。定員各14人。雨・曇

缶、プラスチック容器に1本1円の「リサイクル税」

自治体や再生企業へ還元



寄本さん 極端な私案ですが、国がすべての容器(プラスチックを含む)に一率一円のごみ処理コストを徴収すると、年間二千億円の収入になり、これを各地方自治体や再生企業、民間団体のリサイクル費用に還元すればと思います。この仕組みなら消費者もメーカーも反対しないでしょう。

販売代金に缶代を預かり金として上乘せし、空き缶を返せば

缶代を返却する「デポジット方式」が、外国で採用されていますが、寄本さん 私はデポジットに必ずしも賛成しません。なぜですか。

寄本さん 現在、各市町村の収集システムが異なります。デポジットを実施した市町村へ、デポジットを実施していない所から缶やびんが集中し混乱する恐れがあるからです。

なるほど、そうでしたか。

寄本さん 自販機に限り、デポジット方式を取り入れることは可能だと思います。自販機ごとに、その目印になる印刷を缶にすれば、デポジットできます。自販機を改良するため、五年間の猶予期間を設ければ実現できるでしょう。

使い捨てとか、再生困難な製品は、企業が製造しない、使わない努力をしてほしいと思います。

寄本さん おっしゃる通りです。プラスチックトレーを紙パックに替えるのが無理な場合もあります。が、正油の大半が容器に使っているペットボトルは、びんに切り替えるべきです。

代用が無理な場合は、どうすればよいのですか。

寄本さん 処理コストを製品に上乘せすることです。例えば、正油の一・八リットルが民間のルートで回収されていれば、公共負担はゼロですが、ペットボトルは自治体の清掃事業で処理されています。この費用を上乘せするので。

「コスト負担は公正にしよう」ですよ。公共の負担をしない容器が儲かり、破竹の勢いでびんを駆逐したのです。こんな不公平なことに、消費者は手を貸してはいけません。認識を高めないといけません。

使い捨て容器や再生困難な容器に、ゴミ税が検討されていますが。

寄本さん ごみ料金制度は大別して三つの方法があります。①収集手数料。現在、無料のゴミ収集費を有料に切り替える②ゴミ税。自治体が集めるゴミの量に応じ、国が税をかけるデンマーク方式で、税の大半は処理費などに還元される仕組みで、ゴミ減量に役立ちます③課徴金。これはペットボトルに処理費をかけたリ、缶、びんなど全てに一律課税する方法です。このうちどれを選ぶか、あるいは複数のものを組み合わせるか、です。



【土曜観覧会◆読売ランド】11月14日(土)13～16

●随想● 夏休み今昔 高橋清川崎市長

連載「いまを話す」寄本勝美・早大教授
このままでは毎日収集が危ない!!

「ごみ非常事態宣言」から2年…
◆市生涯学習情報システム◆ステージラインが「開通」

■投稿欄■ 心の中のこる私の一冊 市立川崎工高講師、関崎益男さん
川崎新時代の総合計画素案市民討議
地区の特色活かす多核的まちへ

●はりきってます グループ紹介●麻生男の料理教室
学習・文化情報・会員募集

「ステージ・アップ」配布場所 ■どくしゃの声

社会教育研究 全国各地で人間性回復の仕事始まる

社会教育研究 全国各地で人間性回復の仕事始まる

●随想絵 吾亦紅と松虫草 田村あや

●もくじ 秋水 清水幹子

●表紙絵 麻生区古沢86 麻生警察署裏の麻生川にかかる陣川橋 田島志織

各地で人間性回復の仕事始まる

「住民主体」の内実伴い

当事業団職員 岡本剛介

社会教育研究 全国集会開く

第三十二回社会教育研究全国集会

(社会教育推進全国協議会主催)が、

八月二十八日から三十一日まで当県の湯河原町で開かれた。それは、社会教育関係職員と住民、研究者たちによる手づくりの集いで、全国から七百人以上が参加。川崎からも住民と職員計三十人が参加した。

メインテーマは「地域にくらしと平和と自治をささぐ、ともに育ちあう生涯学習の創造を」だ。十四の課題別分科会は、熱のこもった討論が展開され、私は『地域生涯学習計画の創造』分科会に参加した。

同分科会の中心課題は、住民主体の生涯学習計画をどのような内容と方法で創りあげ、地域のなかでどう具体化していくか、にあった。川崎の生涯学習計画づくりの現段階が、当分科会のテーマと一致している。

川崎では昨年三月、生涯学習の「策定調査委員会」が作成した基本構想をひとつの手掛かりに、現在、どう市民が本物の計画に練りあげていけるかが問われている。同基本構想にも「市民がつくる・市民が学ぶ・市民がひろく」との副題がつけ

られていた。

分科会で、三つの地域から報告があった。大阪府貝塚市は、多様な方法の住民参加を基調に住民、行政、研究者の連携による計画づくりを▽長野県松本市は、公民館の蓄積と一四七の事例を編纂した『松本の学び根っこワーキング』をもとにした計画素案づくりを▽埼玉県富士見市は、21水谷公民館ビジョン委員会を設置し、公民館区エリアから計画づくりを模索している。

報告後の討論も活発で、深く感銘した第一は、優れた地域では計画づくりのプロセス自体が人々の新しいつながりと高い質の「学び」を生み出している。

二つ目は、これまで築いてきた公民館(川崎では市民館)などの社会教育施設や諸制度を、学びの拠点として宝のように大切に考えている。三つ目は、これまで、ややもするとタテマエに終わることが多かった「住民主体」が、いよいよ内実を伴って登場してきた。

四つ目は、全体集会の基調提案でも強調されていたが、「いま、町まちな村むらに、住民の学習権宣言を」ということだ。

さまざまな危機が押し寄せる状況のなかで、人間らしさの回復と発達の大切さを、ローカルにそして高らかに打ち立てていく仕事、各地で始まっていることに勇気を与えられる思いがした。

しかし、それはどの地域でも平坦な道のりではなく、種々の困難を乗り越えつつの歩みであることは言うまでもない。

編集後記

今号の「いまを話す」のゲスト、寄本勝美・早大教授は、ごみ問題の第一人者で、分刻みの「おいそが氏」です。▼寄本教授は学生時代に川崎の先進的ごみ行政

に関心をもち、数カ月間、現場で研究し、川崎への思い入れが強いようです▼「一億総評論家時代」といわれて、かなりの年月が経ちますが、ごみ問題は市民、事業者、行政の実践的課題で、評論家は願い下げにしたいものです▼ところで9月号は、連載企画に加え「ふれあいサマーキャンプ」「遊びの広場」も掲載、24号建てでした▼読者から「子供の遊びが生涯学習と関係があるのか」と質問がありました▼子供達は社会教育、家庭教育、学校教育を通して「生きるための力」を育みます▼しかし現状は学校教育が「突出」し、子供に過度の期待をかける親もいます▼いま、三分野の教育の有機的結合が強調されているのは、このためです▼生涯学習とは、幼児からお年寄りまでが、自主的に「生きるための力」を様々な機会に生涯学ぶこととです▼「ふれあい」「遊びの広場」は、自然の中や地域で多くの仲間とふれあいながら、学校生活では得られない何かを学ぶはずです。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒216 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル
電話(044)951-5000 FAX(044)951-1350

編集人 田中 園

同事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の一の三 教育文化会館一階
電話(044)233-1650

